

あいあいあい

I eye 愛

2026年

5月号



原木しいたけ見学会 ほだ場をバックに（登米市東和町）

原木しいたけの香り 宮城の山の恵みを守る

理事 佐藤 有子

4月19日、登米市・芳賀裕さんの原木しいたけ見学会に今年も60名を超える組合員が参加しました。芳賀さんの優しい笑顔と爽やかな青空に参加者の期待が膨らみます。

まず、暖かなハウスへ。植菌したほだ木に菌が定着したら、それを冷たい水に浸けてから暖かいハウスにうつすと芽を出します。菌の中で「冬」から「春」へのスイッチが入るのでしよう。この発生操作を行うことで年間通して収穫することができます。次にほだ木になるナラやクヌギに穴を開け植菌するハウスを見学。そして並べられたほだ木の中で菌が伸び互いに結びつき、「活着」をしてしいたけが増えてくるということですから不思議です。まるであいコープの組合員活動みたい！

そして坂道を上り目指すは広大な杉林。急斜面にほだ木がビッシリ並べられています。芳賀さんから「昨年の見学会では小さいものが多かったので今年は少し開催を遅くしましたが、今年は大きくなってしまった。旨味があるのでぜひ大きいものから採って」とお話があり、参加

者はゆっくりと斜面を下りながら袋いっぱいにしてたけを収穫。大きなしいたけを手に、どうやって食べようかと芳賀さんとお話していました。

ここ数年の不安定な気候に、芳賀さんも苦労されているそうです。今年2月には気温20度になった日もあり、早く芽を出して傷んでしまっただしいたけもあったとか。自然相手の露地栽培だからこそ環境と食が密接につながっていることを感じずにはいられません。

最後においしいきのこ汁をいただきながらの感想発表。「子どもが苦手なきのこを食べられた、味が濃くて感激した」などたくさんのお原木しいたけファンを増やすことができました上、「子どもたちに食への興味をもっとほしい、貴重な作り手の現場を見ることができた」と学びも多かったようです。15年前の原発事故と放射能の影響を受け、原木しいたけ農家が減少する中、この里山で踏み張って再起した芳賀さんの原木しいたけを食べ続けるため、私たち組合員に何かできることがあるはず。

CONTENTS

- ▶子どもに原発事故を伝える会 ……2
- ▶連載「あいコープを知る」 ……4-5
- ▶議案書説明会案内 ……7
- ▶遺伝子組み換えナタネ調査 ……3
- ▶奥羽乳業訪問 ……6
- ▶今日はコレ！わたしのおすすめ ……8

語り継ぐあの原発事故のこと

『子どもに原発事故を伝える会』

3月29日 脱原発エネシフ委員会



登米市で原木椎茸を生産されている芳賀裕さん。表紙の「しいたけツアー」でもお世話になりましたが、今年は「子どもに原発事故を伝える会」にもお招きしました。それは、芳賀さんの椎茸づくりが原発事故と深くつながっているからです。

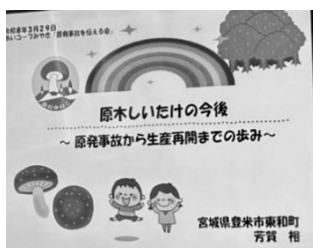
2011年3月の福島原発事故前、芳賀さんは豊かな里山で原木しいたけを盛んに生産していました。しかし放射性物質の影響で出荷できなくなり、長年積み重ねてきた生産の場を失ってしまいました。それでも仲間とともに再生に向けて取り組み続けている芳賀さんの言葉には、山への深い愛情と未来への静かな願いが込められており、原発事故の「今も続く現実」を生きた体験として届けていただきました。



会では委員さん達が、事故当時の子どものための言葉で綴られた詩集を読み聞かせてくれました。「なぜ東京の電力なのに福島原発って言われるの?」——大人には言葉にしにくい悔しさや悲しさをストレートに表現していて、胸に深く刺さりました。

会が終わって7日後、福島第2原発でトラブル発生。二ユースが飛び込んできました。廃炉作業中の1号機で使用済み燃料プールの冷却ポンプが発煙し、冷却が一時停止したというのです。原発事故はまだ終わっていません。だからこそ、汚されてしまった里山に向き合い諦めずに手を動かし続ける芳賀さんの姿勢こそが、子どもたちへの一番の贈り物だと思えました。

理事 萩原 晃世



生産者の芳賀裕さん（上）この日のために発表資料を作り込んで来てくださいました。

あいコープみやぎ26年度部門方針説明会

4月18日エルパーク仙台にて、理事・職員向けの部門方針説明会が開催され、あいコープみやぎの事業を担う各部門から新年度の方針が示されました。

営業課は新規加入した組合員の定着と利用促進に重きを置いた「量から価値への進化の実現」を掲げ、供給課は分業化による配送職員の負担軽減と、担当者二ユースを活用した顔の見える関係作り。業務課はCITシステム導入により電話の音声とデータを結びつけるコールセンターの革新を宣言。他にも様々な部門からセンター増築に向けての経費削減の具体的な方策や、入協から年数の浅い職員を「生協人」に育てる目標な



職員・理事と来賓の生産者で集合写真

どが熱く語られました。

職員がチームに分かれ、約1年かけて生産現場や生協の取り組みを学ぶ「コアサイクル活動」の最終報告と優秀賞を決める投票も行われました。現場経験が血肉となり、表現にも工夫を凝らした5つのチームそれぞれ甲乙つけがたく、投票に苦勞しました。

社会情勢の不安や法改正など課題山積の中、求められる商品を組合員のもとに届け、それを作り続ける生産者を守るための業務を遂行することで、社会をよくする一端を担う皆さんに頼もしさや尊敬、そして感謝の思いを新たにしました。

理事 辻 朗子



優良な取り組みをした職員や永年勤続者の表彰も行われました

春の恒例 GM(遺伝子組み換え)ナタネ調査

あいコープみやぎでは遺伝子組み換え作物に反対する運動を続けており、その一環として毎年、仙台港、石巻港でGMナタネ調査をしています。4月15日、まず仙台港調査を行いました。全組合員にチラシをお配りしたのですが、今年の仙台港調査への申し込みはゼロ。組合員理事の名による調査となり、まず今回仙台港調査には初参加の理事に、石巻港との違いを説明しました。

■仙台港には主に「ハタザオガラシ(アブラナ科の植物)」しかない。でもここにGMナタネが一輪咲くと交雑して、GMハタザオガラシ畑になる可能性がある。ある。

■ここでGMナタネが見つかったら大ごとになる。なぜならこれまで確認されたのは石巻港だけ。仙台港で見つかったら汚染の可能性がある地域が一気に拡大する。



飼料工場付近の道路を
目を光らせて歩く理事



簡単に調査できる検査キット。仙台港での調査は陰性でした。ライオンが1本で検査できます。

■飼料のこぼれ落ちが多いGMナタネ自生の可能性はある。

■以前、一面に除草剤をまかれたことがあるので、それもチェック

パトロールの結果、今回も仙台港は懸念されることはなし。現地のハタザオガラシと大郷の在来ナタネの2種類を、ナタネの見分け方をレクチャ―しながら簡易検査体験しました。どちらにも陰性で一安心です。

さあ、翌週は石巻港調査です。すでに3月下旬の下見の段階でラウンドアップ耐性ナタネが確認されています。本来見つかってはいけないGMナタネですが、見つけては高揚し(笑)抜き取って「今日も地域の平和を守ったぞ」を悦に入っている、地味で目立たない在来種の守り人「ナタネ調査隊」の活躍にご注目ください！

理事 辻朗子

天童トライりんごオーナーに196名

山形県天童市の「天童果実同志会」は、その昔、琵琶湖汚染などの環境問題を考える青年たちによって立ち上がった生産者団体です。40年以上のあいコープのお付き合いの中で、特裁の果物生産に取り組み、組合員との交流を重ねてきました。

2013年から始まった「ネオニコチノイド系農薬を使用しないりんご栽培」を苦難の中でも守り続けようと、今年も196名のオーナーが出資してくれました。産地に行っているりんごの木のお世話を体験できるコースには定員以上の応募があり、残念ながら落選した組合員もいたほど。農業と農薬を考え、環境を考え

るこの企画には、みなさん関心があるようです。

3月22日、今年度の最初の作業「剪定」が行われ32名の参加者が天童に集まりました。生産者との顔合わせや自己紹介を終え、園地でハサミをもって枝を切る作業を体験。恐ろしいほど切れるノコギリを、お父さんに手を添えられながら押し引きする子どもたち・・・きつと貴重な体験になったことでしょう。

天童ではこれから11月の収穫まで、みんなでりんごの木を見守っていきま。食卓で応援し待っている多くのオーナーのためにも頑張ります。

理事 鈴木 真奈美



来年の花を咲かせる為に剪定



剪定作業を終えて

人・食べ物・お金・資源…

地域でぐるぐる回り続ける 循環と共生の暮らし



生活協同組合

あいコープみやぎが目指す地域社会

■あいコープは何のためにある？

1844年、イギリスのロッチデールで…と生協誕生の歴史を語れば長くなりますが、つまり生協の始まりは「誰もが平等に、安全なものを食べ安心して暮らせるようにしたい」という、市民の想い。21世紀の今でも私たち生協組合員はそれを求め、自分たちの生協を「自分たちで出資、利用、運営参加」して運動を続けています。生協発祥の地ロッチデールで、不当な賃金で働かせる雇用主や、質の悪い物を売りつける悪徳商人に虐げられた人々が何を指したかを想像すれば、産直も地域福祉もその存在意義が見えてきます。誰かが儲けて誰かが損をしたり、特定の人だけが恩恵を受けるのではなく、互いが満足すること(=公正で公平な取引)が平和な社会を築くのだという彼らの確信が、私たちあいコープにも息づいています。

■奪い合うのではなく分かち合う FEC 自給圏

小さいながらも食と福祉の自給に力を入れてきたあいコープは、2017年、「パルシステムでんき」の取次ぎを開始したことで「FEC 自給圏※」となる条件を揃えました。設立以来の産直運動と、ジョイケアや共済などの福祉活動に、エネルギーの供給が加わり、あいコープで生活の基盤を整えることができるようになったのです。市場原理を完全無視はできませんが、少なくとも全てを委ねるのではなく、組合員が自ら考え求めた地域社会を実現し、ヒト・モノ・カネを奪い合うのではなく分かち合って暮らすことに、生協の醍醐味があります。

※Fフード(食)Eエネルギー-Cケア(福祉)を地域で自給するという考え方。評論家の内橋克人氏が提唱。

食(Food)・・・生産者と取り組む産直運動

私たちあいコープは、主として地場の生産者と手を取り合い生きてきました。生協の産直運動には「交流」が欠かせません。私たちは組合員活動の中で農業体験や工場見学、学習会によって生産者を理解し、顔見知りになって支え合う気持ちを培ってきました。

産直(産地直結)は消費者が安全な食べ物を享受するだけではなく、生産者を守り生産を続けるための仕組みでもあります。そこには適正価格で取り引きする約束があり、生産者にとっては「作ったらしっかり買ってもらえる」安心、組合員にとっては「有事の際も飢えない」安心も育ちます。2025年の米不足の際も産直で結ばれた産地の助けがあり、課題はありながらも、「年間登録米」の利用者には米を届け続けることができました。モノの売り買い(取り引き)だけではない「長年の取り組み」が生協にはあるのです。



大郷グリーンファーマーズの有機小松菜ハウスを見学する組合員。生産者の仕事を生で見、産地を肌で感じる時間。



天童果実同志会のりんご園地で、虫や病気の被害について生産者に話を聞く組合員。積極的な質問が飛び。

あいコープみやぎでは現在、2025年ビジョンの総括を踏まえながら、2030年ビジョンの策定を進めています。組合員・職員・生産者が語り合う中で飛び交うのは、あいコープの基本理念に基づくワードたち。「私たちは協同の力で 人・食・環境を大切にする 持続可能な社会をつくります」
私たちはなぜあいコープを創り、あいコープを育て、何をを目指しているのでしょうか。なぜ生協？なぜ産直？なぜ石けん？今あらためてあいコープを考える特集を、全3回にわたってお届けします。

エネルギー(Energy)・・・産直でんきで再エネ推進

前述の「パルシステムでんき」は、多くの食の産地を発電産地とし、水力や太陽光など再エネ中心の電力事業を進めています。宮城県内では、配送エリア外でもでんき組合員としてあいコープに加入していれば利用することができ、原発や環境負荷の高い電源に自分の大事なお金を払わずに済みます。こちらも食の産地同様、顔の見える発電産地であるからこそ「交流」が可能となり、宮城県の伊具郡丸森町にある「ひっぽ電力」(太陽光)や岩手県の「十文字チキンカンパニー」(鶏糞バイオマス)などがその代表。組合員が産地を訪れ、発電所を見て事業者の想いを聞くこともできます。

巨大な発電所への依存から、地域分散の小規模エネルギー生産へ。世界情勢に左右される「大きな一つ」より「小さなたくさん」が私たちを守ってくれるでしょう。



2017年、電力小売りを始めた時のチラシ



2016年、パルシステムでんきの発電産地の一つ「ひっぽ電力」の1号機完成記念式典に参列する組合員。

福祉(Care)・・・ジョイケアシステムで相互扶助

組合員が月100円ずつ出し合って、地域の社会福祉法人や福祉NPOを支え、登録制の「ケアメイト」によって組合員同士の助け合いの原資としているのがジョイケアシステム。一人はみんなのために、みんなは一人のためにという生協の理念を体現する、誇りある活動です。

グローバル経済の中ではコストとされがちな弱者の存在も、生協という「身内」の間柄では切り捨てることをしません。弱者とは障がい者や貧困に苦しむ人だけを指すのではなく、ワンオペ育児や老いなど、生活の困りごとを抱えたら誰もが弱者となり得ます。助け合いのシステムを地域に根付かせ、些細な困りごとや孤独から組合員を救



い、「福祉」と呼ぶまでもない「お互い様精神」の温かな地域を作ろうというのが、あいコープ独自の福祉「ジョイケア」です。

ケアメイトの研修会

■私たちの暮らしが「生協運動」

生協という仕組みの中で、資源や食べ物だけでなく、人(人材)やお金(経済)も循環することが、設立からずっと続くあいコープの願いです。自分の仕事や、活動が、支払うお金が、明日の自分や未来の子どもたちのためになるんだと思える毎日に。生協運動とは、署名運動やデモ行進を指すのではなく、『組合員の毎日の暮らしそのもの』です。

この運動に加わる仲間を増やす意味について、次号お届けする予定です。

(文責:理事 鈴木真奈美)

女川原発を廃炉に！ さようなら原発宮城県民集会

3/28、「さようなら原発宮城県民集会」が勾当台公園で開催され、約400名が参加しました。福島県大熊町で被災した大賀さんは原発事故被害の深刻な実態を語り、フライデーズ・フォー・フューチャー仙台の鴨原さんも「反原発運動は財産。たたかきを受け継ぐことが私たちの世代の課題だ」と力強く呼びかけました。集会後は「女川原発いますぐ廃炉」「福島事故を忘れない」などを訴えながら一番町商店街をデモ行進。参加者全員が廃炉への誓いを新たにしました。



理事5名をはじめ多くの組合員が参加

理事 萩原 晃世

農業問題は食糧問題 『令和の百姓一揆 in みやぎ』に向けて

規模の大小に関わらず、全ての農家に対する個別所得補償制度を求める「令和の百姓一揆」(主催:令和の百姓一揆実行委員会)。3/29には東京都内および全国17カ所でトラクター行進などの取り組みが行われました。東京ではトラクター6台と軽トラ21台によるパレードと、約1200名の市民が参加して行進が行われ、「農家に保障を」「今が正念場」と訴えました。

農家を守ることは私達の暮らしの安全保障に直結する重大事です。宮城県でも実行委員会の立ち上げを準備しています。一緒に声を上げましょう!

副理事長 石井 朱里



3/29 令和の百姓一揆(東京)の様子





「パスちゃん牛乳」製造元・奥羽乳業を取材しました

5月21日委員オリエンテーションへのいざない

今年の委員オリエンテーションは、あいコープPB「放牧パスちゃん牛乳」をテーマに行います。事前準備をすべく、組合員理事が山形県河北町の奥羽乳業(株)を見学しました。

「パスちゃん牛乳の原乳はどここの牧場から届く?」「牛さんはどんな環境で育てられている?」...気になることがいっぱい!また、「パスちゃん牛乳が組合員の手に届くまでどのくらいかかる?」「75℃15秒間の「パスチャライズ殺菌」って何?」「どうして飲み口がサラリとしているの?」など、パスちゃん牛乳の特徴やすばらし

まんま通信のあるくらし



春休み中の子ども達も一緒に工場を見学しました



どんな質問にも丁寧に答えてくれる奥羽乳業の井内さん(中央)

さについて取材してきたことをお伝えし、PB商品のことを楽しく学びたいと思います。お楽しみのお試食は手作りモッツアレラチーズ。お料理上手な理事が腕によりをかけて提供します。各委員会からはおススメ牛乳レシピ紹介もありますので、牛乳をもっと利用したくなること間違いなし!あいコープ恒例の牧場ツアー(今年も秋に予定しています)の予習にもぴったりなので、パスちゃん牛乳や委員会活動に興味のある方の参加をお待ちしています!

理事 藤田 紀子

ブライベートブランド

月刊PB

5月号

理事会では、あいコープに加入したての組合員にPB商品をアピールするため、地区・専門委員を対象に「まずはコレ!新規組合員におススメしたいPB商品」アンケート調査を行いました。結果の一部をご紹介します。

- 第1位 仙台味噌・米こうじ味噌(19票)
- 第2位 国産丸大豆醤油(16票)
- 第3位 放牧パスちゃん牛乳(11票)

食生活の土台を作る基礎調味料が支持され、1位・2位を独占。3位にはあいコープの誇る放牧酪農牛乳が続きました。コメント欄には「何と言っても美味しー!」「あいコープを始めた時からずっとリピートしています」などの熱い声寄せられました。

結果を掲載したチラシを作成し、4月から新規加入の方へ配送職員が届けていきます。組合員の願いから生まれたPB商品を次世代の組合員につなぐため、皆さんの応援もよろしく願っています!

副理事長 石井 朱里

理事会議事録抄

2026年4月7日(火)

▼第38回通常総代会提起の各号議案ついて協議した▼議案書説明会の日程を承認した▼布おむつ談義企画案を承認した▼たねまきプロジェクト2026企画案を承認した▼外部団体によるミートセンター見学企画案を承認した。

フィリピン台風に伴う自然災害基金カンパ

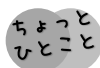
(カンパ強化期間 1/5~3/31)

この間寄せられた支援金は、現金 212,200円 ポイント 712,200円分 合計 924,400円となりました。組合員の皆様のご支援、ありがとうございます。自然災害基金は通年、カンパを受け付けています。

組織概要

(2026年3月分)

【組合員数】	20,386名
【供給高】	292,448千円
【一人実利用高】	6,810/週
【出資金】	1,405,396千円



●「原子力で作った電気」という言葉が考えさせられた / 日本の7~8割が山という視点から、里山・仕事への価値付けを改めて考えた(原木椎茸生産者芳賀さんを招いての「子どもに原発事故を伝える会」参加者感想より)

2026年度 議案書説明会

26年度通常総代会(6月25日開催)の前に、議案書の説明会を各地区で開催します。

日程	議案書説明会 会場	託児室
5月20日(水) 10:00~12:00	根白石市民センター小会議室	和室
5月21日(木) 13:00~15:00	日立システムズホール研修室2	和室1・2
5月22日(金) 10:00~12:00	あいコープみやぎ日の出町センター 大会議室(オンライン対応あり)	中会議室
5月26日(火) 10:00~12:00	富沢市民センター第一会議室	和室2
5月28日(木) 10:00~12:00	多賀城市山王公民館会議室1~3	第3和室
5月28日(木) 13:30~15:30	名取市下増田公民館 研修室2	和室
5月29日(金) 10:00~12:00	東松島市矢本西市民センター会議室	和室
5月30日(土) 10:00~12:00	桂市民センター会議室	和室2

※所属の地区に関わらず、ご都合の良い日程・会場で参加していただけます。

※2026年度総代の皆さまには、別途ご案内と参加票をお送りしています。

※総代でない組合員もオブザーバー参加可能です。ご希望の方はお問い合わせください。

(あいコープみやぎコールセンター 0120-255-044 組合員事務局 鈴木・太田代)

※今年度から個人情報保護の観点から、総代名簿はあいコープみやぎ掲示板への掲示のみとし、全組合員配布を廃止しました。必要な方は右の二次元コードからご請求ください。

▼総代名簿請求フォーム



中東情勢が緊迫化し、原油供給の不安から様々なモノの値上げがさらに進むものとしていきます。モノの値段が上がったり、不足したりすることはもちろん、私達の事業と暮らしにとって大きな問題です。しかしそこにばかり目を奪われて、その原因である戦争や紛争の問題を忘れるようなことがあってはいけません。そう強く思います。

副理事長 石井 朱里

編集後記

私のオススメ商品



私のお勧めする商品は『トマト』です。有機質肥料で土作りを行い作られたトマトは、甘味と程よい酸味があり、仕事で疲れた私の体を癒してくれます。トマト嫌いの

私の子供達もあいコープのトマトは嫌がらず美味しいと喜んで食べています。新規の組合員さんに「お勧めは何なの？」と聞かれると、私は迷わず「トマトです」とお勧めしています。まだあいコープのトマトを食べた事がないのであれば、是非一度手に取って召し上がって下さい。 事業部 供給課 松野 晶

委員さん募集中!

あいコープの仲間と
食のこと
環境のこと
一緒に話しませんか?

お問い合わせ先
☎0120-255-044
Fax 0120-849-324
Email i-kumikatsu@mamma.coop
(担当: 組合員事務局 鈴木・太田代)



ジョイケア NEWS

ジョイケアシステムは、あいコープみやぎ独自の地域福祉政策で、組合員の拠出金(100円/月)によって成り立っている助け合いの仕組みです。社会福祉法人「みんなの輪」、NPO法人「お茶っこケア」、ビッグイシューへの支援など、地域福祉にも役立てられています。

個人で利用できるサービス(ささえあい/たすけあい/集団託児/慶弔/出産/電話相談)もあり、組合員同士の助け合いやケアメイトによる集団託児なども多く利用されています。

ジョイケア利用状況 (2026年3月分)

ささえあい(保障)	2件	(商品の動物被害への補償など)
たすけあい(ケア)	8件	(ケア時間 合計 12時間)
集団託児	4件	(利用延べ人数 8名)
慶弔	8件	(出産祝い 4件 お悔やみ 4件)
電話相談	6件	(キャンセル除く相談実施件数)
計	28件	

組合員が利用できる電話相談

お申込み・お問合せは
ジョイケアへ



0120-50-7277 平日 9:00~17:00

年金相談・6/9(火) 社会保険労務士 清野道子氏

13:30~15:30

法律相談・6/9(火)、6/17(水) 弁護士 倉林千枝子氏

13:30~15:30

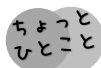
子ども相談・6/25(木) 宮城教育大学准教授 三科聡子氏

12:00~14:00 ※いつもと時間帯が違います。ご注意ください。

*介護相談は相談日のご希望を伺います。

介護相談 (ケアプランセンター木ねび 山崎彰子氏)

▼随時受付可能です。各相談窓口前週の金曜日までに予約して下さい。▼金曜日が祝日の場合は直前の平日の受付時間まで受付します。▼予約して頂いた方には、相談日に相談員からお電話を差し上げます。



●生産者が同じ志を持って取り組んできたことが素晴らしい。また毎年この会で成功も失敗も共有してくださることが嬉しい。(3/13 農産報告会「産地と共にあゆむ」参加者感想)



今日はコレ!

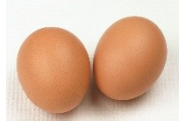
わたしのおすすめ

〈第15回〉

今月の食材

『花たまご』

(花兄園)



私のおススメ商品は、毎週欠かさず購入している「花たまご」。届く前々日に採卵された新鮮卵です。一般的に、鶏のエサの主原料は輸入されたトウモロコシですが、多くは遺伝子組み換えのリスクがあります。輸入の過程で虫が発生するのを抑えるための収穫後の農薬散布も不安が大きいところ。そして、特に安価な卵については鶏へのホルモン剤の使用や劣悪な飼育環境下で採卵することも問題視されています。

花たまごをシンプルに味わう 『だし巻き卵』

〈材料〉(作りやすい量)

- ・卵5個
- ・しょうゆ 大さじ1~2 (お好みで加減)
- ・だし汁 100~150cc (多いほどプルプルになりますが、お弁当用は少なめがおすすめ)



①卵を割り、泡だて器で白身と黄身をしっかりと混ぜ合わせる



②だし汁・しょうゆを入れて混ぜる

③フライパンに薄く油をひき焼いていく

④お好みで大根おろしなど添えて完成



*フライパンについて...

フッ素樹脂加工のフライパンは、高温時に有害ガスや微粒子が発生する可能性があり、傷んだコーティングの破片が食品に混入することもあります。調理器具は定期的に見直し、鉄製フライパンの使用をおすすめします。

農薬散布もしていない飼料ですので安心して愛用しています。
どんな料理・お菓子にも大活躍の卵ですが、我が家の定番はシンプルなだし巻き卵。だし汁と醤油だけで作るだし巻きは、ご飯のお供にぴったりです。大根おろしやゆめんたいこ、塩昆布などを付け合わせたり、ネギやチーズを中に入れたり、いろんなアレンジができるのも卵料理の嬉しいところですね。
卵は完全栄養食品とも呼ばれ多くの栄養を含みます。不足しがちなたんぱく質をしっかりと補ってください。ぜひアレンジして楽しんでください!

食育コンダクター 畠山 紀世

※食育コンダクターとは：NPO法人とうほく食育実践協会が育成・認定する「食の伝道師」。約1年間、養成講座を受講して食の根幹を学んだメンバーが、食育の現場で活躍している。

今後の予定

5/21 木

2026年度 委員オリエンテーション

場所/日立システムズホール 2階 交流ホール
時間/10:00~12:30 参加費/無料
申込/切/5月10日 ※託児あり(3階和室1.2)
放牧バスちゃん牛乳を学ぼう! チーズ作りのデモもあります



6/25 木

第38回 通常総代会

場所/エル・パーク仙台 6階 ギャラリーホール
時間/10:00~12:30 (予定) ※託児あり(5階和室)
議案書説明会案内は7ページをご覧ください

【声明】イランをめぐる軍事行動に断固抗議し 即時停戦と対話による解決を強く求めます

あいコープみやぎは平和と声明を何よりも重んじ、この軍事行動に抗議する声明文を発表しました。HPでご確認ください→



あいコープみやぎは女川原発の稼働停止と核燃料の乾式貯蔵施設建設中止を求めます

女川原発の再・再稼働から

2024年10月29日再稼働し
不具合による停止を経て11月
13日に再稼働しています

538 日目

早く
停止を

2026年5月4日現在